

## CPDによる登録更新の実施方法について

「地質調査技士」登録更新の手続き方法は、次の通りです。

5年毎に実施する地質調査技士資格の登録更新は、次の2つの更新方法のうち、いずれかを任意選択し、必要な更新手続きを行うものとする。

- ① 「登録更新講習会」の受講（従来通りの更新手続き）
- ② CPD 記録の報告（新たに導入した更新手続き）

### 地質調査技士登録更新制度「CPD記録の報告」について（手続き方法の概要）

#### 1. CPDとは？

CPDとは、「継続教育」「継続研鑽」のことで、「技術者が基礎教育を終了し社会に出てから、実務経験を積みながら高度な技術力を持つ技術者に成長するための教育」と「その技術を生涯維持するために必要な再教育」から構成されています。

#### 2. 更新に必要なCPD単位数について

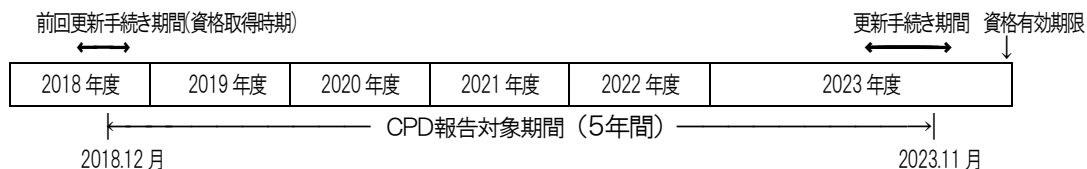
保有する資格(部門)の数	必要なCPD単位数	備考
1部門	CPD125単位／5年間*	例：現場調査部門のみを保有
2部門以上	CPD175単位／5年間*	例：現場技術・管理部門と土壌・地下水汚染部門の2部門を保有

\*5年間の合計に所定のCPD単位を取得していただきます。

#### 3. 更新の対象となるCPDの取得期間について

最近5年間(更新年度の5年前の12月～更新年度の11月)に取得したCPD単位を対象とします。

(例) 2018年度に登録更新または資格取得をされた方の場合、2018年12月～2023年11月の期間中に取得されたCPDを報告していただきます。



#### 4. 更新の対象となるCPDの内容について

##### (1) 各資格部門で対象とするCPD

- ① 「現場調査部門」、「現場技術・管理部門」  
“地質調査に関連した内容”のCPD単位を対象とします。
- ② 「土壌・地下水部門」  
上記①と同じ内容のCPD単位のほか、  
“土壌・地下水に関連した内容”のCPD単位(最低50単位/5年間)を対象とします。

##### (2) CPD単位の取得形態

上記4. のCPDは、下表の取得形態により取得したCPDを対象とします。

取得形態	内容	取得単位限度
・講習会等への参加・発表等	社外の組織が主催した講習会、研修会、現場見学会	限度なし
・企業内研修等への参加	社内で開催した勉強会、講習会等への参加	年30単位以内
・自己学習	関連の内容のプログラムに即した自己学習(関連教材・書籍等による学習も含まれる)	年20単位以内
・現場経験	主任技術者、現場管理者等で従事した現場経験で特に自己学習に繋がる経験となったもの	年10単位以内
・委員会活動など	全地連、地区協会、県協会、学会等の活動	年20単位以内

#### 5. CPD記録の報告様式について

CPD記録の報告は、所定の様式(Excel)を使用し提出していただけます。この様式は、自己学習支援サイト「ジオ・スクーリングネット」\*が提供する自己学習管理サービスと同じ様式を採用する予定です。

なお、CPDの自己学習管理については、日本技術士会をはじめ、複数の学会や協会等が登録サービスを提供しております。こちらのサービスをご利用の方は、そのデータを利用して前述の所定様式に組み直していただき提出していただく予定です。

\* 自己学習支援サイト「ジオ・スクーリングネット」 <https://www.geo-schooling.jp/>

このサイトは、土質・地質技術者生涯学習協議会が運営しており、講習会の開催案内やWEB申込みのほか、自己学習記録の管理・登録、CPD証明書の発行などを行うことができます。利用希望者は、利用者登録を行うことで、提供するすべてのサービス(CPDの登録や証明書発行など)を無料でお使いいただけます。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
1	番号	主催者名	プログラム名	プログラム番号	教育分野	教育形態	開始年月日	終了年月日	参加単位	単位	CPD単位	主催者証明	認定機関名	プログラム目標	プログラム内容
2	1	国土交通省 関東地方整備局	荒川河川堤防基礎調査		A基礎共通分野11倫理、哲学倫理倫理規定、技術倫理、職業倫理 など	ii業務経験⑥電子納品の実務	2008/1/1	2009/3/31	1件		1	-			(業務経験)発注者の仕様に従い、報告書の電子納品用ファイルを作成した。
3	2	社団法人全国地質調査業協会連合会	ジオネット活用会議	zen0001	A基礎共通分野11その他の基礎共通分野その他上記以外で地質技術者として役に立つ基礎共通分野	講習会・研修会等への参加1講習会、研修会等への参加	2010/7/16	2010/7/16	4時間		4	○	社団法人全国地質調査業協会連合会		講習会、研修会等への参加
4	3	社団法人全国地質調査業協会連合会	成果普及講習会(性能設計対応機設計、新マーケット別出展案)		A基礎共通分野11その他の基礎共通分野その他上記以外で地質技術者として役に立つ基礎共通分野	講習会・研修会等への参加1講習会、研修会等への参加	2009/3/6	2009/3/6	2時間		2	○	社団法人全国地質調査業協会連合会		(講習会受講)地質調査の成果を性能設計分野にどう展開していくかがテーマ。発注機別、調査分野別の現状や、地質調査などのようなアプリでアプリ化するかの講義があった。調査計画の立て方を考える上で、有益な講義であった。
5	4	自己学習	WEB-GISの構築		A基礎共通分野11その他の基礎共通分野その他上記以外で地質技術者として役に立つ基礎共通分野	iiiその他自己学習(学会誌購読等)	2008/12/30	2009/1/1	4時間		4	-			社内のGIS構築にむけて、オーム社発行「実務に役立つWEB-GIS」を購読し、構築の流れや留意点などを学習した。
6	5	株式会社 全地連地質調査 地質調査課	社内講習 ボーリングデータのデータベース化		A基礎共通分野11倫理、哲学倫理倫理規定、技術倫理、職業倫理 など	iv企業内研修及びOJT企業内研修およびOJT	2008/10/12	2008/10/12	2時間		2	-			(社内研修)社内で実施してきたボーリング調査結果をデータベース化するにあたり、データベースの作成方法やデータの取り扱い、精度確保の取り扱いなどについて、社内の課のメンバーで勉強し、データベースの構築と運用ルールを作成した。

CPD記録の報告様式(イメージ) ※「ジオ・スクーリングネット」自己学習記録の様式

当案内の内容については、予告なく変更する場合があります。全地連のホームページでは、当年度における更新手続きの案内(最新の情報)を載せておりますので、本資料と併せてご参考にしていただければと存じます。